こうい議会だより

No.218　9月定例会

令和８年11月15日発行

ぎかいのひろば

９月定例会は９月１日㈫から10月１日㈬までを会期として開催され、上程された26件の議案を可決し、１件の議案を修正可決しました。

議案および議員ごとの表決一覧はこちら➡

令和８年度湖西市一般会計補正予算（第３号）を修正可決

◆修正案を全会一致で可決

修正案…執行部（市当局）から提出された議案に対して、議会が審査を行った上で内容を変更した新しい案。

修正内容

債務負担行為：アメニティプラザ空調修繕工事（４億6,184万円）を削除

修正の理由

アメニティプラザの設備老朽化に伴う修繕の必要性については十分理解しており、空調修繕の実施そのものに異議を唱えるものではない。しかし、多くの利用者が訪れる施設において、安全で安心して利用できる環境を確保することは何よりも優先されるべきであり、その観点から補正予算案の内容については再検討が必要であると考える。

多額の費用を投じる事業であるにもかかわらず、修繕範囲が施設の一部分に限られていることや、修繕実施方法についての比較検討材料が十分に示されていないことから、財政運営の観点や市民の理解を得る観点において、妥当性について疑問が残るものである。

議案審査の様子（賛成討論）

同施設は災害時の指定避難所に指定されているが、現時点で十分に安心・安全な施設であるとは言い切れない。災害時に多くの市民を受け入れる施設として、安全性や避難生活を支える環境を確保することは重要である。以前から指摘されているつり天井の改修やサブアリーナの空調整備も先送りとなっている。

数年後に施設全体の大規模改修の時期を迎えるのであれば、計画を前倒しし、各工事を個別に実施するのではなく、施設の安全性や利便性の向上を含め、一体的な大規模改修について検討すべきである。工期の短縮や事業費の節減といった効果も含め、中長期的な視点から施設全体を見据えた整備を検討していただきたい。



▲アメニティプラザの空調機室外機

そこが聞きたい

一般質問

安心して暮らせるまちづくり

台風時の教育・保育施設の対応方針

Q. 災害時における小中学校・園の対応方針や、前日の危険予測時を含む判断基準の整理について見解を伺う。

A. 児童生徒・園児の安全確保を最優先に、気象情報や通学・通園時の安全状況などを踏まえ、施設の特性に応じて対応を判断している。今後、国や県の考え方も踏まえ、関係部局で情報共有を図り、前日の段階で危険が予測される場合を含め、学校・園で調整できる対応や事前判断の整理に努め、適切な判断につなげていく。



相曽桃子

管理不全林等の倒木および土砂災害防止対策

Q. 所有者不明や管理不足の山林・樹木による倒木被害への市の対応について伺う。

A. 山林や樹木の管理は、原則として土地所有者の責任において適切に行っていただくものと認識している。所有者不明の場合は、相続人調査などにより所有者の把握に努めている。また、管理が不十分な山林や樹木については、現地確認の上、所有者へ危険性や管理の必要性を説明し、剪定や伐採などの適切な維持管理を行っていただくよう助言している。



寺田　悟

猛暑期の大規模地震に備えた災害対策

Q. 大規模な長期断水に備えた飲料水・生活用水の確保策および個人・事業所所有井戸の活用計画を問う。

A. 飲料水は、避難所備蓄や防災倉庫からの配送に加え、長期断水時には国の支援、日本水道協会などの応急給水、協定先からの物資支援により確保する。生活用水については、地域で活用できる井戸を登録する「防災井戸登録制度」の整備を進め、本年度中の運用開始を予定しており、災害時の備えを強化する。



竹内祐子



▲大知波地区の倒木の様子

将来を見据えた持続可能な市政運営

一般廃棄物処理の現状と今後

Q. 旧環境センター跡地ストックヤードにおける資源物の受け入れ・搬出実績と運用効果、課題を問う。

A. 市では、パソコンなどの電子機器を回収し、ストックヤードで一時保管後、環境省認定業者へ売却している。令和７年度は搬入・搬出量が4,080kg、売り払い収入は約120万円となった。保管場所の一元化により、資源物の選別作業の効率化や安全性向上につながっており、資源循環の推進に向け、今後も活用拡大を進めていく。



加藤治司

市民の終活支援と市営合葬式墓地整備

Q. 身寄りのない市民が墓の改葬や納骨を生前に予約できる公営合葬式墓地の新設を問う。

A. 令和７年度に墓園・墓地・納骨堂需要等調査を実施した結果、合葬式墓地を希望する市民は42.0％、墓地と合葬式墓地を選択できる形を望む市民は46.6％となり、ニーズの高さを確認した。一方、利木墓園では返還数が新規受け入れ数を上回る状況である。今後、調査結果や需要推計を踏まえ、公営墓地の在り方を検討していく。



佐原佳美

市民に信頼される行政組織の人材育成と運営

Q. 複数部署にまたがる行政課題について、湖西市の情報共有や役割分担、組織横断での取り組みと課題を問う。

A. イントラネットや会議等で情報共有・協議を行い、所管に応じた役割分担の下に対応している。重要施策は部局横断で取り組んでいる。一方、行政課題の複雑化・多様化により、情報共有や役割調整に時間を要する場合もあり、今後は早期連携と庁内調整のさらなる強化を図り、迅速な課題解決に努める。



山本晃子

深刻な人口減少社会

Q. 少子化対策・子育て支援への取り組みの考えを問う。

A. 少子化対策は重要な政策課題であり、子育て支援を柱として、こども計画に基づく取り組みを進めている。今後は、金銭的支援だけでなく、子どもが安心して過ごせる環境づくりにも取り組む。住環境、雇用、教育など市政全体で暮らしやすく持続可能なまちづくりを進め、関係機関と連携し、限られた財源の中で効果的な施策に重点的に取り組んでいく。



三上　元

健康と福祉を支える地域づくり

高齢者転倒防止による健康寿命延伸

Q. 高齢者の骨密度低下は、転倒時の骨折リスクが格段に高いため、骨密度測定の重要性や栄養による骨の健康づくりを周知してはどうか。

A. 骨密度測定の重要性を周知するため、骨粗しょう症検診や市内ドラッグストアと連携した骨密度測定・相談を実施している。また、骨粗しょう症予防教室では、専門職から知識や食生活、運動について学ぶ機会を設けている。今後も、検診や健康教育を通じて、骨の健康維持に関する情報発信を継続していく。



山口裕教

高齢者の生きがい創出と居場所づくり

Q. 高齢者を地域活動の担い手として生かすために必要な支援や取り組みを問う。

A. 高齢者が持つ経験や知識、趣味や得意分野を生かせる場や、活動を始めるきっかけづくりが重要であると認識している。本年度は「通いの場ではじめる地域づくり講座」を開催し、地域での居場所づくりや社会参加について学ぶ機会を設ける。今後も、高齢者が地域とのつながりを持ちながら、経験や能力を生かして活躍できる環境づくりを進めていく。



福永桂子

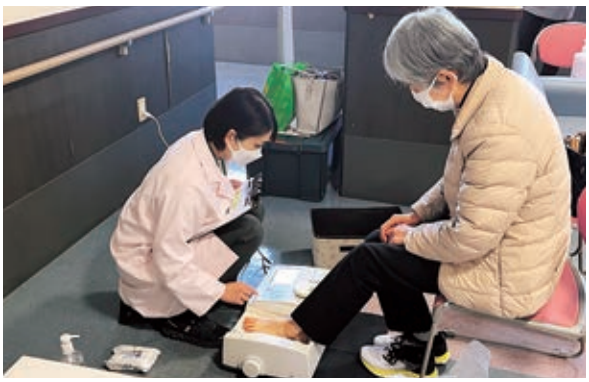
困難を抱える児童生徒への切れ目ない支援

Q. 通級指導教室（61人が利用、うち26人が他校へ通学）について、現在の需要や必要な教員数をどのように把握し、配置に反映しているか。また、他校へ通えない子への対応も伺う。

A. 担当教員は言語２人、発達２人の計４人で、要望どおりの配置と認識している。中学校における新設や、巡回指導・サテライト方式の導入を検討しており、県には教員の増員を要望していく。



楠　浩幸



▲骨粗しょう症予防教室の様子

９月定例会一般質問の再生リストはこちら➡

一般質問通告書はこちら➡

令和７年度決算を認定

令和７年度各会計決算を予算特別委員会および常任委員会で審査を行い、認定しました。
一般会計決算の審議内容を一部ご紹介します。

一般会計歳入　約309億円

Q. 新居弁天海釣公園駐車場使用料が942万円増加した理由は。

A. 利用台数が前年度比約13％増の20万6,383台となり、約950万円の増収となった。「うなぎつかみ＆かば焼き体験」や「牡蠣（かき）小屋」体験の増加、「あらいギョギョ市」の新規開催や釣り客の増加などが影響したものであり、今後も観光交流拠点として利用促進に努める。



▲新居弁天海釣公園駐車場

一般会計歳出　約289億円

Q. 宿舎借り上げ支援によって何人の保育士の新規採用・定着につながったのか。また、入所待ち解消に必要な保育人材確保策を伺う。

A. 宿舎借り上げ支援は３園５人に交付し、新規採用２人、定着支援３人に活用した。入所待ち解消には約17人の保育士確保が必要と見込み、民間施設と連携し人材確保に取り組む。

Q. まちあるき観光案内所の運営の効果検証と実証実験の結果は。

A. まちあるき観光案内所を湖西・新居地域で実証実験し、新居地域への観光客集中を確認した。湖西地域では来訪者121人、新居地域では1,075人が訪れ、新居関所周辺を拠点とする有効性が確認された。令和８年度は市内観光施設への周遊促進と観光ＰＲの効果を検証する。



▲まちあるき観光案内所

議会活動の報告〈令和８年８月～10月〉

各委員会で勉強会や行政視察などを行いました。開催回数や一部の活動の様子を報告します。

委員会名	回数※
総務経済	8
福祉教育	8
建設環境	10
広報広聴特別	1
議員定数等見直し特別	7
議会機能強化特別	2

＼委員会活動として次のことを行いました／

- 執行部（市当局）からの事業報告
- 行政視察（静岡県庁、豊田地域医療センター、大阪府寝屋川市、愛知県新城市　ほか）
- 議会報告会（常任委員会ごと）
- 意見交換会（自治会連合会、観光協会・農業振興協議会）
- 議員チャレンジ講座

※視察や意見交換を含む

地域の声を議会へ

７月31日㈮、10月６日㈫、10月13日㈫の３回、常任委員会と自治会連合会との意見交換会を開催しました。議会活動の報告に加え、常任委員会と自治会連合会がそれぞれテーマを持ち寄り、地域の課題や市政について意見を交わしました。直接顔を合わせて意見を交わすことで、地域の現状や課題を共有し、相互理解を深める貴重な機会となりました。今後も地域の声を議会活動に生かしていきます。



▲自治会との意見交換の様子

「議員って、どんな仕事？」を知る３日間

「議員になってみたい」「議員の仕事を知りたい」という人を対象に、今回初めて「議員チャレンジ講座」を開催しました。次期改選を見据え、議員のなり手不足の解消や議会への関心を高めることを目的に、全３日間、現職議員と直接話す機会を設け、議員になったきっかけや活動のやりがいなどについて意見交換を行いました。参加いただいた延べ19人の幅広い世代の皆さんからも好評で、議員の仕事をより身近に感じていただく機会となりました。



▲議員チャレンジ講座の様子

議会をもっと身近に。ＳＮＳで情報発信！

「議会って、どんな活動をしているの？」そんな疑問にお答えできるよう、市議会ではFacebookとInstagramで議会活動の情報発信をスタートしました。会議や議会活動に関する情報などを、分かりやすくお届けします。ＳＮＳを通じて、議会をより身近に感じていただけるよう情報発信を充実させていきます。ぜひフォローしてご覧ください。

公式Facebookはこちらから⬇

公式Instagramはこちらから⬇

議会だよりのアンケートにご協力ください。 ▶▶▶

次回は
令和９年２月15日発行予定です

湖西市議会公式サイトもご覧ください

議会だより編集委員会
委員長：馬場　衛　副委員長：竹内 祐子
委　員：相曽 桃子、山口 裕教、寺田 悟

発行／湖西市議会
〒431-0492 静岡県湖西市吉美3268番地
TEL.053-576-4791／FAX.053-576-0331
https://www.city.kosai.shizuoka.jp/gikai/index.html